人間科学科 カリキュラム

主な専門科目		1年次	2年次	3年次	4年次
学科基礎科目	プロゼミ	1年次			
		●プロゼミ			
	導入科目	1～4年次			
		●人間科学研究論　●人間科学キャリア論			
	入門科目	1～4年次			
		●遊戯論　●いのち・身体論入門　●人権とは何か　●生涯学習論　●人類学入門　●野菜づくり入門			
		●スポーツ文化論入門　●社会学入門　●社会調査入門　●現代世界入門　●メディア論入門　●地域を知る			
学科選択専門科目	生命系	1～4年次			
		●生命倫理学　●生命論　●医療人類学　●衛生学　●動物論			
		●エコロジーと人新世(アントロポシン)　●現代社会と心身問題　●障害・健常を考える　●福祉共生と身体運動			
		●健康体操学　●学校保健学　●健康管理学概論　●障害児運動支援学　●ムーブメント教育・療法			
		●発育発達論　●運動生理学　●スポーツ医学と救急処置　●スポーツ栄養学			
			2～4年次		
			●生命の政治学		
	身体文化系	1～4年次			
		●身体論　●文化と演技　●表現運動学　●野外教育論			
		●イベントパーティの作り方　●フィールド・ライティング　●アスリートの自伝・伝記を読む　●シャーマニズム・アニミズム論			
		●映像人類学　●現代の宗教　●食の社会学・文化研究　●スポーツ人類学			
		●フットボール論　●地域スポーツ推進の理論と実践　●スポーツトレーニング論　●運動処方論			
		●体育測定・評価　●運動学　●コーチング論　●スポーツ心理学			
		●キャンプマネジメント論			
		●スポーツ方法学実習(ストレッチング＆ダンス、バレーボール、バドミントン、サッカー、卓球、テニス、体つくり運動、器械体操、陸上競技、バスケットボール、フットサル、ソフトボール、柔道)			
			2～4年次		
			●スポーツ方法学実習(水泳)		
	社会学系	1～4年次			
		●グローバル社会学　●質的調査法の基礎　●合意形成と対話のデザイン　●差別論　●暴力論			
		●現代社会と労働　●コミューン・共同体論　●都市論　●群島論　●地域流域社会論			
		●環境とまちづくり　●沖縄の社会と文化　●アジアの社会と文化　●現代ヨーロッパ社会論　●クレオール論			
		●音楽の社会学・人類学　●大衆音楽の社会史　●楽器の文化学　●社会教育論　●スポーツ社会学			
		●情報メディアと資本主義　●文化の社会学			
			2～4年次		
			●社会学理論　●社会調査の方法　●統計データの活用　●現代社会とジェンダー		
			●ジェンダー労働論　●ジェンダーとメディア　●開発とジェンダー		
			●セクシュアリティをめぐる諸問題　●現代の家族　●逸脱とは何か　●貧困の社会学		
			●福祉社会学　●政治社会学　●社会意識論　●不平等論　●経済と人間社会		
			●負債の社会学・人類学　●社会運動の社会学　●ソーシャルデザイン論　●環境社会学		
			●災害社会学　●現代社会とNGO・NPO　●アイヌ民族論　●ラテンアメリカの社会と文化		
			●マイノリティと言語　●言語と社会　●比較社会学　●スポーツマネジメント論		
			●スポーツマーケティング論　●都市の社会史　●移住論		
	フィールドワーク	1～4年次			
		●フィールドワーク(地域環境)　●フィールドワーク(ヨーロッパ)　●フィールドワーク(市民運動と自治)			
		●フィールドワーク(身体表現)　●フィールドワーク(森と汀)			
			2～4年次		
			●フィールドワーク(ハワイ)　●フィールドワーク(生涯学習)		
演習・卒業研究	ゼミナール		2～4年次		
			【ゼミナールテーマ】		
			●ひとはなぜ、まなぶのか？　●生態＝環境哲学(エコソフィー)と抵抗の思想		
			●遊びの場を共に創る　●暮らしやすい社会を創る		
			●ジェンダー／セクシュアリティと 現代社会　●世界を救う!?スポーツの未来像を探る		
			●グローバル化する社会とその課題　●生命と環境		
			●スポーツをマネジメントする　●「マルチ」の思想を再考する		
			●文化と社会意識		
共通教養科目					
外国語科目					

※2023年度のカリキュラムです。2024年度のカリキュラムは変更される場合があります。

■ PICK UP 授業

人間科学キャリア論

生活・環境・身体に関わる職業への理解を深め、さまざまな生き方を学びとる。

多くの分野のゲストスピーカーをお迎えし、多様な生き方について考えてもらいます。「キャリア」といっても、いわゆる就職だけの支援に特化したものではなく、もっと広く「生き方」について刺激をもらえれば、と期待しています。

生命論

さまざまな専門領域における「生命」を考察し、「生」に対する多面的な視点を養う。

生命を複数の視点から横断的に考察し、一つの専門領域だけで考えるのでは見えてこない多面的な「生」について研究します。また、近年の多くのマンガやアニメにおける、「人間でないもの」(非人間的なもの)どうしの共生、あるいはそれらと人間との共生の描かれ方を分析します。

ムーブメント教育・療法

障害のある子どもとその家族への支援法を学び、実践していくための方法論を導き出す。

「ムーブメント教育・療法」は、対象者の自発性や喜びを尊重し、「動きたくなる環境」の中で、「からだ−あたま−こころ」の調和のとれた全体的発達を図る、遊びの場を活かした支援法です。障害のある子ども達とその家族を対象とした活動例を紹介し、実践のための方法論についても学びます。

地域スポーツ推進の理論と実践

実際のスポーツ関係者やスポーツの現場に触れ、地域スポーツ推進を担う人材へと成長していく。

この授業は、地域社会でスポーツを推進する人材の育成を目的としています。単に教室で理論を学ぶだけでなく、実際にプロスポーツクラブや地域スポーツクラブなどで活躍する外部講師の話を聞き、スポーツの現場で自らスタッフとして実践する機会を提供しています。

現代社会とジェンダー

ジェンダーに関する基本的な考え方を学び、現代日本におけるジェンダー現象について考える。

現代日本のジェンダーの固定観念のありようとその問題性を、具体例とともに検討していきます。「性差」と「性役割」の違いを理解し、それらを個人にあてはめることの問題性を論理的、倫理的に考察できるようになることをめざします。

フィールドワーク(地域環境)

周辺地域の自然環境を観察・調査し、人間の都市生活と野生生物の共生のあり方を探る。

大学周辺、鶴見川、三浦半島の自然を調査して、都市生活と野生生物の共生を考えます。この授業で学生が絶滅危惧種を発見し、それがきっかけで自然保護活動が始まったこともあります。都市部の自然も和光生の力も侮れません。

■ 履修スケジュールの例

(1年次前期の場合)

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		コーチング論				
2	英　語	公衆衛生学	英　語	ムーブメント教育・療法	人間科学研究論	
3	スポーツ文化(障がい者の体育・スポーツ)	社会学入門(入門科目)	プロゼミ		日本の文化と文学	フィールドワーク
4		障害児運動支援学		流域を知る	環境とまちづくり	
5						

■専門科目 ■共通教養科目 ■外国語科目 ■自由履修科目(講義バイキング)

■ 卒業に必要な単位

(合計124単位以上)

			小計	合計
共通教養科目			20単位	124単位
外国語科目			4単位	
専門科目	学科基礎科目	プロゼミ 4単位	12単位	
		導入科目 4単位		
		入門科目 4単位		
	演習		8単位	
	学科選択専門科目		12単位	
	卒業論文		4単位	
自由履修科目(講義バイキング)			64単位	

■ 卒業研究テーマの例

- K-POP アイドルにおけるジェンダーの逸脱と攪乱
- 女性アスリートの報道のされ方
- 若者の人間関係と SNS
- 絵本に描かれた愛情表現にみる母子関係の変容
- ディズニーの魔法：白人社会の内面化
- 音楽からみた黒人差別
- ロボットは人間と共生できるか
- 鶴見川流域の外来水生生物
- スポーツにおける体罰はなぜなくならないか
- スポーツコミッションが地域活性化に果たす役割
- 奨学金がもたらす貧困